演習シート①

|  |
| --- |
| 主体的な学び対話的な学び演習1「病気「Ｘ」は何だろう」の教材をノートにつくりましょう。 |

演習シート②単元の評価規準を作成しよう

中学校「傷害の防止」

・解説の記述

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①交通事故や自然災害などによる傷害は，人的要因，環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することについて理解したことを言ったり，書いたりしている。②交通事故などによる傷害を防止するためには，人的要因や環境要因に関わる危険を予測し，それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であり，人的要因に対しては，安全に行動すること，環境要因に対しては，交通環境などの整備，改善をすることがあることや，交通事故を防止するためには，自転車や自動車の特性を知り，交通法規を守り，周囲の状況に応じ，安全に行動することが必要であることついて理解したことを言ったり，書いたりしている。③自然災害による傷害は，例えば，地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや，地震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じること。また，自然災害による傷害の防止には，自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることついて理解したことを言ったり，書いたりしている。④傷害が発生した際に，迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることや，応急手当には止血や患部の保護や固定があり，その方法について理解したことを言ったり，書いたりしているとともに，実習を通して包帯法や止血法としての直接圧迫法ができる。⑤心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当には，気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED使用などの心肺蘇生法があり，その方法について理解したことを言ったり，書いたりしているとともに，実習を通して胸骨圧迫，AED使用などの心肺蘇生法ができる。 | ①傷害の防止について，それらに関わる事柄や情報などを整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見している。②自然災害などによる傷害の防止について，習得した知識を自他の生活に適用したり，傷害の状態に合わせて悪化を防止する方法を見いだしたりして，傷害を引き起こす様々な危険を予測し，回避する方法を選択している。③傷害の防止について，自他の危険の予測や回避の方法と，それを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。 | ①傷害の防止について，課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。 |

・解説の記述

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

高等学校「応急手当」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷害者の苦痛を緩和したりすること，一人一人が適切な連絡・通報も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。②日常生活で起こる傷病や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて，理解したことを言ったり書いたりしているとともに，応急手当ができる。③心肺停止状態においては，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，理解したことを言ったり書いたりしているとともに，ＡＥＤなどを用いて心肺蘇生法ができる。 | ①応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用すること。②安全な社会生活について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明すること。 | ①傷病や疾病の対処について，課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。 |

演習シート③児童生徒の思考・判断・表現の学習状況の評価を見取ることができるワークシートを考えてみよう。